



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
コード番号 8158

上場取引所

東

URL <https://www.sodanikka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役
社長執行役員 (氏名) 目崎 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 岩渕 修 (TEL) 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	48,850	4.4	1,797	21.2	2,156	16.5	1,531	15.6
2023年3月期第3四半期	46,777	14.3	1,483	44.6	1,850	47.9	1,325	26.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,009百万円(180.3%) 2023年3月期第3四半期 1,073百万円(14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	67.00	—
2023年3月期第3四半期	58.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	78,730	28,233	35.9
2023年3月期	69,292	26,437	38.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,233百万円 2023年3月期 26,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	27.00	40.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,700	1.5	1,920	10.3	2,310	8.4	1,700	12.8	74.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	22,968,000株	2023年3月期	22,968,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	249,628株	2023年3月期	9,556株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	22,862,514株	2023年3月期3Q	22,686,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大やサービス業における活動活性化等、非製造業の景況感改善にも支えられ、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、海外経済の減速による輸出の伸び悩みや、物価上昇による個人消費の停滞懸念等、景気の変動に注意を要する状況が続きました。

当社グループに関係の深い化学産業を中心とする国内製造業につきましては、自動車産業を中心に生産回復の動きがみられました。一方で幅広い業種において世界的な需要低迷等も影響し、全体としては一進一退の動向となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては当事業年度より4ヵ年の新中期経営計画「Go forward STAGE3」を始動させました。本計画は長期ビジョンに基づき新たな成長軌道をつくるための「変革」を果たすステージと位置付けております。この方針に基づき、時代の変化に即したビジネスモデルの発展等を念頭に事業活動に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 48,850百万円（前年同期比 4.4%増）、営業利益 1,797百万円（同 21.2%増）、経常利益 2,156百万円（同 16.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,531百万円（同 15.6%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。また、各セグメントに属する商品群及び、主な構成要素を以下表に記載いたします。

表：各セグメントに属する商品群及び主な構成要素

セグメント	商品群等	主な構成要素
化学品事業	ソーダ関連薬品	か性ソーダ、塩酸等のソーダ工業に関する薬品
	その他の無機薬品	硫酸、アンモニア等のソーダ関連薬品以外の各種無機薬品
	有機薬品	溶剤、界面活性剤等の各種有機薬品
	その他	キレート剤、グラウト材料等、上記に属さない化学薬品
機能材事業	包装関連商品	フィルム、容器、包装関連機器等の包装に関連する各種商品
	合成樹脂関連商品	樹脂原料、添加剤、成型品等の合成樹脂に関する各種商品
	設備・工事・産業材料	汎用機械、生産用機械等の各種設備、付帯工事及びエレクトロニクス、建築向け等の産業材料
	その他	雑貨品等、上記に属さない工業用資材等
その他事業	連結子会社8社	ソーダニッカビジネスサポート㈱、曹達日化商貿（上海）有限公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、(株)日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.、モリス㈱、(株)日進、(有)野津善助商店
	賃貸収入	保有動産・不動産等の賃貸による収入

【化学品事業】

売上高は前年同期に比べ5.9%増の32,830百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ15.1%増の2,586百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

ソーダ関連薬品は好調に推移いたしました。主力のか性ソーダは、各取引が堅調に推移したことにより取引増加となりました。また次亜塩素酸ソーダは官公庁向けの需要伸長により取引増加となり、塩酸は一時的な特別需要の発生等により取引増加となりました。

その他の無機薬品は好調に推移いたしました。アルミニウム化合物は自治体向け水質処理剤の新規受注等により取引増加となりました。鉄化合物におきましては輸出が低調であることにより、取引減少となりました。マンガン化合物は電池材料向けの販売数量伸長により取引増加となりました。

有機薬品は堅調に推移いたしました。ラテックスは受注拡大により取引増加となりました。また界面活性剤は製品の切替やシェア拡大により取引増加となりました。またフッ素系溶剤は一時的な需要伸長により取引増加となりました。

上記以外のその他の商品群は好調に推移いたしました。トイレタリー関連商品は日用品の受託製造取引の新規受注に伴い取引増加となりました。キレート材は清掃工場向けの取引拡大が進んだことから取引増加となりました。

【機能材事業】

売上高は前年同期に比べ0.7%減の10,159百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ19.9%増の707百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

包装関連商品は好調に推移いたしました。ナイロンフィルムは国内外向け食品用包材の需要好調に伴い取引増加となりました。複合フィルム及びポリプロピレンフィルムは食品業界向け案件の新規受注や需要伸長により取引増加となりました。包装用フィルム・シートは需要が一段落したため取引減少となりました。

合成樹脂関連商品は堅調に推移いたしました。物流容器は新規案件の受注により取引増加となりました。ガラス短繊維はスポット受注により取引増加となりました。ポリエチレン樹脂はナフサ高騰に伴う価格改定により取引増加となりました。

設備・工事・産業材料は好調に推移いたしました。機械器具設置工事は大型案件受注により取引増加となりました。排水処理装置は取引先の稼働低迷により取引減少となりました。

【その他事業】

売上高は前年同期に比べ5.4%増の5,860百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ17.6%増の226百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ9,437百万円増加となりました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が1,059百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が6,145百万円、投資有価証券が1,952百万円それぞれ増加となりました。負債の部では、支払手形及び買掛金が6,813百万円、短期借入金が915百万円それぞれ増加となりました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が1,411百万円増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年11月7日付公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,405	9,464
受取手形、売掛金及び契約資産	41,996	48,141
商品及び製品	1,512	1,278
その他	774	327
貸倒引当金	△114	△83
流動資産合計	52,573	59,129
固定資産		
有形固定資産	3,235	4,248
無形固定資産	123	67
投資その他の資産		
投資有価証券	12,604	14,556
破産更生債権等	5	0
その他	756	729
貸倒引当金	△6	△1
投資その他の資産合計	13,360	15,285
固定資産合計	16,719	19,600
資産合計	69,292	78,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,085	38,899
短期借入金	4,757	5,673
未払法人税等	519	279
契約負債	166	3
引当金	437	305
その他	995	804
流動負債合計	38,961	45,965
固定負債		
繰延税金負債	1,683	2,342
退職給付に係る負債	1,192	1,197
その他	1,018	990
固定負債合計	3,893	4,530
負債合計	42,855	50,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	13,999	14,567
自己株式	△6	△255
株主資本合計	20,871	21,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,279	6,691
繰延ヘッジ損益	△3	△1
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	96	155
退職給付に係る調整累計額	△2	2
その他の包括利益累計額合計	5,566	7,043
純資産合計	26,437	28,233
負債純資産合計	69,292	78,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	46,777	48,850
売上原価	40,599	42,202
売上総利益	6,177	6,647
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	970	873
給料及び手当	1,719	1,807
賞与引当金繰入額	173	213
役員賞与引当金繰入額	24	20
役員株式給付引当金繰入額	—	25
退職給付費用	105	75
その他	1,702	1,835
販売費及び一般管理費合計	4,694	4,850
営業利益	1,483	1,797
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	348	360
その他	47	30
営業外収益合計	397	395
営業外費用		
支払利息	17	25
シンジケートローン手数料	9	9
その他	3	2
営業外費用合計	30	36
経常利益	1,850	2,156
特別利益		
固定資産売却益	19	—
投資有価証券売却益	41	111
移転補償金	30	—
特別利益合計	90	111
特別損失		
固定資産除売却損	—	22
事務所移転費用	11	—
特別損失合計	11	22
税金等調整前四半期純利益	1,929	2,245
法人税、住民税及び事業税	555	655
法人税等調整額	48	58
法人税等合計	604	713
四半期純利益	1,325	1,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,325	1,531

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,325	1,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△325	1,411
繰延ヘッジ損益	△5	1
為替換算調整勘定	72	59
退職給付に係る調整額	7	5
その他の包括利益合計	△251	1,477
四半期包括利益	1,073	3,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,073	3,009
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会において、当社取締役（社外取締役を除きます。以下も同様であります。）及び執行役員（以下総称して「取締役等」といいます。）を対象とする業績連動型株式報酬制度（以下「本制度」といい、本制度導入のために設定される信託を「本信託」といいます。）を導入しております。

本信託に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じて、総額法を適用しております。本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額（付随費用の金額を除きます。）により純資産の部に自己株式として計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が248百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が255百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	30,990	10,228	5,559	46,777	—	46,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	786	1,118	2,012	△2,012	—
計	31,097	11,014	6,677	48,790	△2,012	46,777
セグメント利益	2,246	589	192	3,028	△1,544	1,483

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,544百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	32,830	10,159	5,860	48,850	—	48,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	144	865	853	1,863	△1,863	—
計	32,974	11,025	6,713	50,713	△1,863	48,850
セグメント利益	2,586	707	226	3,519	△1,722	1,797

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,722百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。